

科目名	Web解析			ナンバリング	ICT361	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	中尾剛	担当教員					

授業の概要	Webを活用したマーケティングにおいて、アクセス解析をはじめとしたウェブ解析データを活用し、Webページを改善することは重要である。この授業では、3年前期の「Webデザイン」の単位取得者を対象に、アクセス解析を軸としたWeb解析スキルを身につけ、データを読み取り、正しい判断が出来るスキルを会得することを目的とする。 この授業は、3年前期の「Webデザイン」の単位を取得していることを履修条件とする。						
到達目標	1. Web解析を活用して今後自分の仕事でWebマーケティングを活用することができる 2. ユーザ行動をデータから理解し、論理的説明を行うことができる 3. ユーザの理解からビジネスヒントを生み出し、事業の成果につなげることができる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義内で提示されるキーワードは必ず書き出し、その意味を説明できるようにする。ただし、解析技用語は定義だけではなく、判断基準、改善手法、活用例についての考え方も重要であることを理解しておく。講義で示されるまとめのスライドなどを自分の言葉で説明できるようになることを一つの目標として学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①Web解析を活用して今後自分の仕事でWebマーケティングを活用することができる ②ユーザ行動をデータから理解し、論理的説明を行うことができる ③ユーザの理解からビジネスヒントを生み出し、事業の成果につなげることができる	①Web解析を行い改善案を提案することができる ②ユーザ行動をデータから分析し、Webページの最適化を提案することができる ③ユーザの理解から、事業の成果につなげる提案を行うことができる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○			○		70%
宿題・授業外レポート	○				○		20%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1 小テストは授業の中で解説する。 2 小テスト解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	Web解析とは	Web解析の目的と関係法規とモラルについて説明する	
	第2回	事業分析(その1)	事業を把握するためのフレームワークについて説明する	
	第3回	事業分析(その2)	ユーザーを把握するためのフレームワークについて説明する	
	第4回	KPIと計画立案	KPIの理解と計画立案について説明する	
	第5回	Web解析の設計	Webサーバシステムと通信手法について説明する	
	第6回	Web解析の基本(その1)	ページビュー数、セッション数などについて説明する	
	第7回	Web解析の基本(その2)	ユーザー数、滞在時間などについて説明する	
	第8回	Web解析の基本(その3)	直帰数、離脱数などについて説明する	
	第9回	アクセスログの解析(その1)	HTTPDのアクセスログについて説明する	
	第10回	アクセスログの解析(その2)	実際のログファイルの解析方法について説明する	
	第11回	流入の解析(その1)	検索エンジンからの流入解析について説明する	
	第12回	流入の解析(その2)	リスティング広告からの流入について説明する	
	第13回	コンテンツの解析(その1)	コンテンツの構造と調査方法について説明する	
	第14回	コンテンツの解析(その2)	直帰率、回遊離脱率、フォームの解析と改善について説明する	
	第15回	まとめ	1回から14回までの講義をまとめ、それぞれの要点について説明する	
	試験	実施しない		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。單元ごとに小テストを実施する(結果を評価に含む場合は、事前に知らせる)。		
授業外学習の指示		manab@IMUで提示する資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問すること。余裕があれば、次回の講義に対応する資料の該当箇所を読み、概要を理解しておく。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	選定中
参考書	講義中に紹介する
参考URLなど	講義中に紹介する
その他	